



PTA広報

●児童数-303名
(令和6年10月31日現在)

学校と家庭を結ぶコミュニケーション紙

編集 芦野小PTA
発行 令和6年11月15日

あいの

No.102



PTA 祭

大人と子どもの仁義なき戦い～絶対に負けられない戦いがここにある！
★親・先生対子どものレクリエーション★

昨年までとは趣向を変え、子ども達のアンケートでも希望の多かった大人との対決が盛り込まれたレクリエーションを行いました。子どもチームと大人チームに分かれ、様々なゲームで対決しました。前半は1年生～3年生の○×クイズ、ボール運びリレー、ドッジボールを行いました。食事タイムをはさんで後半の4年～6年生の障害物リレー、ドッジボール、カラオケなど

を行いました。なかでも、去年大人気だった逃走中は今年もみんな大興奮でした！！

チームレクリエーションにしたことでの保護者同士の交流ができたと感じました。また、今年のPTA祭は役員会だけでなくPTA祭企画委員としてボランティアの方々に企画段階から参加していただきました。より多くのアイディアが生まれ、より良いPTA祭になりました。



低学年の部 ○×ゲームでのパンスト相撲対決での校長先生と教頭先生、なぜかここでも負けられない戦いが起こっていました。



高学年とのドッジボール、子ども達は強かったです。



障害物リレーのゴールは小麦粉の中からマシュマロを口で拾いました。



怪我防止のため4年生以上で行いました。ハンターにまぎれてトトロも子どもを盛り上げていました。



食事タイム。今年もあいのすけ芦野店さんにご協力いただきました。

の皆様、先生方にもお手伝いを頂き、当日を迎えることができました。アンケートの上位であった種目をメインにドッジボール、○×クイズ、障害物競争、カラオケなどを行いましたが、特に高学年で一番人気の「逃走中」は、昨年同様大盛り上がりでした。高学年の障害物競走では、「粉で顔が白くなる」など日常ではない経験をした保護者や子ども達もいて、会場は大いに盛り上りました。

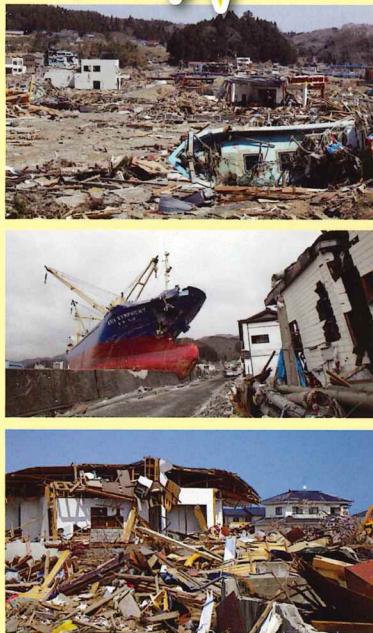
子どもと大人が対決する機会は少ないので、真剣勝負の中でも笑いもあり、最高の対決ができました。今年も多くの皆様にご協力を頂き、子ども達の笑顔を見ることができました。今後も子ども達の笑顔のため皆様のご理解とご協力を宜しくお願い致します。

毎年恒例のPTA祭を10月5日（土）に開催致しました。今年は、子ども達からの希望が多かった「大人との対決」を実現させるため、「子どもVS大人」をテーマに三役とボランティアの皆様と企画しました。打ち合わせ・準備の段階から当日まで多くの保護者の皆様、先生方にもお手伝いを頂き、当日を迎えることができました。アンケートの上位であった種目をメインにドッジボール、○×クイズ、障害物競争、カラオケなどを行いましたが、特に高学年で一番人気の「逃走中」は、昨年同様大盛り上がりでした。高学年の障害物競走では、「粉で顔が白くなる」など日常ではない経験をした保護者や子ども達もいて、会場は大いに盛り上りました。

釧路市立芦野小学校PTA会長 松野 史寛

防災 特集

今後30年以内に70%の確率で釧路に 巨大地震がやってくる!? 災害から命を守ろう!!



二、13年前の東日本大震災の様子

13年前の東日本大震災では、巨大な津波が被災地を襲い、死者・行方不明者・負傷者を合わせると約3万人が被害を受けました。写真は津波によって家屋や車が流れ、瓦礫の山と化した被災地の状況を捉えたものです。この震災は、東北地方を中心に甚大な被害をもたらし、多くの人々の生活を一変させました。

最大クラスの津波浸水シミュレーション(芦野小)



釧路市提供 最大クラスの津波浸水立体画像より

**東日本大震災では
釧路でも車が流されるなど
被害がありました。**



釧路市提供 東日本大震災

一、釧路に大津波がきたらどうなるの?

釧路沖の千島海溝でM9クラスの地震が発生した場合、最大クラスの津波が釧路地方に到達すると予想されています。特に冬の夕方に発生した場合、避難が遅れやすく、釧路市の最大死者数は8万4千人以上に上るとされています。これは釧路市の人口約16万人の半数に当たる人数です。

改めて確認し、避難経路や避難場所を把握しておくことが重要です。ぜひ、この記事を読んで、防災意識を高めてください。

三、実際に大津波が発生したときにすべき行動

子どもが家族と一緒にいないときに、大津波警報などが発表された場合、どのように行動するか家族で話し合っていますか?

★両親がない間に大津波警報が発表された場合

両親がすぐに戻ってこられない場合に備え、子どもだけで家にいたら、自宅から一番近い避難場所にすぐ避難するように家族で話し合って決めておきましょう。

両親の連絡先がわかるメモや防災グッズが入ったリュックなどを持ち出すのが理想です。

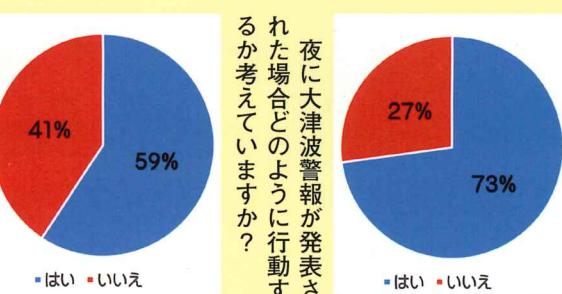
夜に大津波警報が発表された場合どのように行動するか考えていますか?

★夜に大津波警報が発表された場合

家族全員で速やかに自宅付近の避難場所に避難します。芦野小に避難する場合、各玄関が閉まっているため、中に入れない場合があります。その時は左の写真的の場所のガラスを割つて中に避難するようにしてください。

通信が増加し、電話やインターネットがつながりにくくなる可能性が高いです。そのような状況になつたとき、大切な人の安否確認をするためのツールを紹介します。

四、家族同士の安否確認方法



役員が防災体験に参加してきました



3月に避難所宿泊体験に参加してまいりました。厳冬期の災害を想定して、釧路短期大学の体育館で一晩過ごすという活動です。電気・ガス・水道が使えない状況でダンボーラベッドを作ったり、ガスコンロで温めたレトルト食品を頂いたりしました。体育館がとても寒く、石油ストーブを何台も設置しましたが、寒さは和らぎませんでした。水が使えないため、トイレも簡易トイレを使用しました。体育マットの上で寝袋に入つて寝ようとするのですが、寒さと周囲の音が気になつて、全然眠れませんでした。

想像よりもかなり厳しい体験で、実際にこのような環境下で避難生活を送るとなると、事前の準備や心構えが必要になると強く思いました。

釧路市愛国エリア(大津波警報)
一時避難場所(芦野・文苑近辺)
・芦野小・愛國小・公立大
・景雲中・明輝高校など

お子さんは、お家の住所や家族の電話番号を言えますか?



- ①災害用伝言ダイヤル (171) 電話で音声メッセージを残したり、確認したりします。
- ②災害用伝言板 (WEB キリストメッセージ) 上で、テキストメッセージで安否情報をやり取りできます。

芦野小安全指導の年間計画

- 4月 非常口・避難経路の確認
- 4月 避難訓練（地震・津波）
- 4月 防犯教室
- 5月 交通安全教室
- 5月 避難訓練（地震・理科室から出火）
- 6月 避難訓練
(休憩時間 地震・職員室から出火)
- 7月 避難訓練（不審者対応訓練）
- 9月 引き渡し訓練
- 11月 1日防災学校

学校経営での最優先課題は、「安心安全の確保」です。年間の計画を立てて、災害や事故・事件を想定しての説教や訓練を学校では行っています。「天災は忘れたころにやつてくる」と言つた物理学者の寺田寅彦は、「正しく物事を恐れることは大事だ。」「人間はある物事について怖がり過ぎたり、逆に過小評価して恐がらなさ過ぎたりしてしまう。正しく物事を判断し、正直に物事を恐れることは以外に困難である。」とも言っています。震災の教訓として、「自分の命は自分で守る」という生き方を子ども達に伝えていくことが全国の学校現場で行われています。「命を守る」ためには、「情報を探る」「リスクを考える」「3つ以上の選択肢から選ぶ」という習慣を日常的にやつていると「命を守る」決断はより良いものに近づきます。

学校長 高畠 昌之

自分の命は自分で守る

自分の命も 友達の命も
大切にできる子どもに！
～学校での取り組み～

防犯・防災意識の普及、啓発と児童の安全確保に努めることを目標に、学校でも日々の安全指導や安全教室・訓練に取り組んでいます。

◎避難訓練

学校など多くの人が生活する場所では、正しく、そして、素早く行動することが、自分の命と周りの人の命を守ることになります。



椅子の向きを変えています。物が落ちてきたときに、自分の方に流れこんでこないようになります。



机の下。高学年には少し窮屈ですが、頭はしっかりと守っています。



グランドに避難した後、校長の講評を聞きます。最後まで真剣です。

◎一日防災教室

災害や防災への興味・関心を高め、自分ができることを考え行動する主体性及び自立性を育てる目的で、学年ごとに活動をしています。（写真は、昨年度のものです。）

☆一年生

【防災○×クイズ】

「外で大きな地震がきました。近くの堀のそばに隠れました。○ですか×ですか。」



「バーツ！」
プロック壇などが倒れてきたら危ないです。

☆三年生

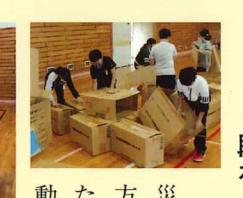
【煙体験・校内消防施設めぐり・放水体験】

【避難所運営体験・段ボールベッドづくり】

【五年生】



消防士さんと一緒にホースを持って放水体験をしました。



ドキドキでした。
周りがよく見えなくて探りで一周しました。

スモークマシーンで煙を充満させた理科室を姿勢を低くして、手

を握りで一周しました。

消防士さんと一緒にホースを持って放水体験をしました。

ホースの重さと、水の勢いで思った方向に水を飛ばすのは難しかったです。

消防士さんと一緒にホースを持って放水体験をしました。

消防士さんと一緒にホースを持って放水体験を



1日目昼食
雨のため屋内で
昼食。みんなで
美味しく食べま
した。

六年一組 遠藤奈々穂
自然の中で川下り♪奇跡の実施に感動
二日間の修学旅行で、一番印象に残ったのは川下りです。バスの中に居るときから強い雨が降っていて、実際に川下りができる、とても良い思い出になりました。また、バスガイドの方のお話も、とても面白かったです。貴重な体験でした。



手作りピザは
美味しいな♪



いっぱい動いた後の
ごはんはおいしい



風呂上がりの一杯



いっぱい歩いた町探検



外でのお昼ごはん！

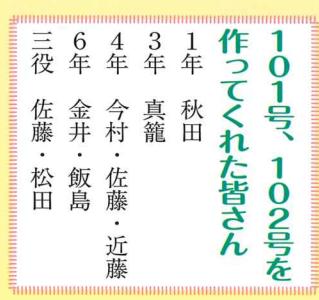


森の探検楽しい

五年一組 高橋 陽音

一日目のトレジャーハン
トではみんなで協力して進
めて、七宝焼きでは、作り
方がむずかしかったけど、
話をよく聞いてうまくでき
ました。どつとも楽し
かったです。あとは、風呂
あがりにマナー委員で分別
や注意ができました。二日
目の街並みフォトランナーで
は、みんなで助け合って四
つ見つけられました。

五年二組 米原 一翔
ぼくは宿泊研修で気を
つけたことについて書きま
す。ぼくが宿泊研修で時間
を守るということを特に気
をつけました。なぜかとい
うと、一日目の活動トレ
ジャー哈ントで、なんと十
分もみんなにおくれてし
ましたからです。その後二
日目は、一日目の反省をふ
まえ、できるだけ早く行動
すると、五分も早く着きま
した。



❖❖編集後記❖❖

今回の広報誌では、子
どもたちの安全と成長に
焦点を当てた特集をお
届けしました。
防災特集では、近年
増加する自然災害に備
え、学校での取り組みや
家庭でできる対策を紹介
しました。
PTA祭については多く
の保護者の皆様、先生方
のご協力により、素晴らしい行事となりました。
修学旅行と宿泊研修
の記事では、子どもたち
が仲間と楽しく活動して
いる様子を紹介しました。
最後に記事作成に携
わってくださった方々に心
より感謝申し上げます。
今後とも本紙へのご支援、
ご協力をよろしくお願ひ
いたします。